

- 問1 景気が悪化している局面において、市場に流通するお金の量を増やして景気を刺激するために、日本銀行が行う金融政策の内容として最も適切なものはどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|---|---|
| 1. 財務省が所得税などの増税を決定し、家計の消費を抑制させる。 | 2. 日本銀行が市中銀行に対して国債を売却し、市場から資金を吸い上げる。 | 3. 金融庁が各銀行に対して、企業への貸し出しを厳格に制限するよう命令を出す。 | 4. 日本銀行が市中銀行から国債を買い入れ、代金を支払うことで市場の資金を増やす。 |
|----------------------------------|--------------------------------------|---|---|
- 問2 日本銀行は2024年7月に、偽造防止を目的として20年ぶりに新しい日本銀行券（紙幣）を発行しました。紙幣には江戸時代の藩札から続く「すかし」の技術や、明治時代以降から続く肖像画の採用など、高度な技術が盛り込まれています。このような紙幣の発行や、政府の資金の管理を行う日本銀行に関する記述として、誤っているものはどれか選びなさい。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 景気を調整するために、世の中に出回る通貨の量を調節する政策を行う。 | 2. 政府が納めた税金の管理や、政府からの支払い事務を行う（政府の銀行）。 | 3. 国の予算案を作成し、予算をどのように使うかの計画を決定する。 | 4. 日本銀行券を発行する唯一の機関としての役割（発券銀行）を持つ。 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
- 問3 為替レートが円安方向に変動した際、日本産の梨などを海外へ輸出する企業の動向や、国際市場における日本製品の状況として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 日本国内での生産コストが急激に下がるため、輸出価格を変動させなくても国際的なシェアが独占状態になる | 2. 海外での販売価格を安く設定できるようになるため、価格競争力が高まり、輸出に有利にはたらく | 3. 海外での販売価格を高く設定しなければ利益が出なくなるため、価格競争力が低下し、輸出に不利にはたらく | 4. 輸出した先で得た外貨を日本円に換える際、受け取れる円の額が少なくなるため、企業の収益が大幅に悪化する |
|--|---|--|---|
- 問4 日本銀行、一般の銀行、そして企業の間で資金が循環する仕組みにおいて、日本銀行が「買いオペレーション」を実施したあとの経済への影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|----------------------------------|-------------------------------------|---|
| 1. 市場から通貨が回収されることで金利が上昇し、企業の過度な投資が抑えられる。 | 2. 国債の価値が下落し、銀行から企業への貸し出しが停止される。 | 3. 政府が直接企業に資金を供給するようになり、銀行の役割が縮小する。 | 4. 市場の通貨供給量が増えることで金利が低下し、企業が資金を借りやすくなる。 |
|--|----------------------------------|-------------------------------------|---|
- 問5 ある特産品を生産する農家が、事業の運営資金を確保するために金融機関から資金を調達する場合を想定します。この際、借りた金額や借りている期間に応じて、元本とは別に支払わなければならない費用のことを何といいますか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 利子 | 2. 証券 | 3. 株式 | 4. 配当 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問6 日本銀行が「売りオペレーション」を実施した際、市場ではどのような変化が起こりますか。操作の内容と、その後に期待される経済への影響の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 日本銀行が金利を直接下げること、市場の通貨量が増加し、デフレ脱却が図られる。 | 2. 日本銀行が国債を売却することで、市場の通貨量が減少し、過度な景気拡大や物価上昇が抑えられる。 | 3. 日本銀行が政府から直接国債を引き受けることで、国の予算を増やし、公共事業が活発化する。 | 4. 日本銀行が国債を買い取ることで、市場の通貨量が増加し、企業の設備投資や個人消費が刺激される。 |
|---|---|--|---|
- 問7 金融の仕組みにおいて、銀行を通じた融資（間接金融）と比較した際の「直接金融」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|---|--|
| 1. 政府が税金として集めた資金を、公共事業のために特定の企業へ配分する仕組みである。 | 2. 銀行が倒産した場合でも、企業への資金供給が止まらない仕組みである。 | 3. 企業が株式や債券を発行し、証券市場を通じて投資家から直接資金を調達する仕組みである。 | 4. 投資家が銀行に預けた預金、銀行の判断によって特定の企業へ貸し出される仕組みである。 |
|---|--------------------------------------|---|--|
- 問8 日本銀行が、景気の停滞やデフレーション（デフレ）に対応するために行う金融政策について説明します。日本銀行が民間金融機関との間で資金をやり取りし、市場全体の通貨量を調節する機能のうち、日本銀行が民間金融機関から国債などを買い取ることで市場の通貨供給量を増やす操作を何といいますか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|-------------|--------------|--------------|
| 1. 公定歩合の引き上げ | 2. 預金準備率の操作 | 3. 買いオペレーション | 4. 売りオペレーション |
|--------------|-------------|--------------|--------------|
- 問9 不況の際、日本銀行が国債の買入れを行う理由として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 市中に出回る通貨量を増やし、企業や個人が資金を借りやすくして経済活動を活発にするため。 | 2. 政府に代わって減税を実施し、個人の消費支出を直接増やすため。 | 3. 政府の税収を増加させ、公共事業に使うための資金を直接調達するため。 | 4. 市中から通貨を回収して金利を上げ、行き過ぎた景気の加熱を抑えるため。 |
|--|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問10 銀行などの金融機関と家計との関係において、家計が将来の備えなどのために銀行へお金を預けることを「預金」といいます。これに対し、家計が住宅の購入などのために銀行から資金を借り入れた際、借りた元の金額（元金）に、あらかじめ決められた利率に応じた利子を加えて、最終的に銀行へ支払う合計金額のことを何といいますか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|-------|
| 1. 返済総額 | 2. 預金残高 | 3. 配当金 | 4. 元金 |
|---------|---------|--------|-------|
- 問11 企業が資金を必要とする際、銀行などの金融機関から融資を受けるのではなく、株式や社債を発行して証券市場を通じて投資家から直接資金を調達する仕組みを何と呼ぶか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 公開市場操作 | 2. 銀行融資 | 3. 直接金融 | 4. 間接金融 |
|-----------|---------|---------|---------|
- 問12 日本銀行が「発券銀行」として日本銀行券（紙幣）の供給量を調節し、金融政策を行うことで達成しようとしている、経済上の最も重要な目的は何ですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 外国との貿易を制限し、国内市場の独占を維持すること | 2. 物価を安定させ、国民経済を健全に発展させること | 3. 政府の財政赤字を埋めるために、無制限に貨幣を増刷すること | 4. 全ての国民に対して均等に現金を配分し、所得格差を是正すること |
|------------------------------|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
- 問13 不景気のとき、日本銀行は世の中に出回る通貨の量を調整することで景気を刺激しようします。日本銀行が一般の金融機関を相手に行う「買いオペレーション」の仕組みとして、正しいものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 日本銀行が企業から直接株式を買い取り、その企業の経営を安定させることで雇用を守る。 | 2. 日本銀行が政府に直接働きかけ、所得税や消費税などの税率を下げるよう要請する。 | 3. 日本銀行が一般の金融機関に国債を売り、代金を受け取ることで、世の中の通貨の量を減らす。 | 4. 日本銀行が一般の金融機関から国債を買い取り、代金を支払うことで、世の中の通貨の量を増やす。 |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 日本銀行が市中銀行から国債を買い入れ、代金を支払うことで市場の資金を増やす。	不況の際、日本銀行は「公開市場操作」の一つとして、民間の金融機関（市中銀行）が保有する国債などを買い取る「買いオペレーション」を行います。これにより、銀行が貸し出しに回せる資金が増え、世の中に流通するお金の量が増加することで、金利が下がり経済活動が活発になることが期待されます。
問2	答え 3 国の予算案を作成し、予算をどのように使うかの計画を決定する。	日本銀行は政府の資金の出し入れや管理を行いますが、国の予算案そのものを作成するのは政府（内閣）の仕事であり、その予算を審議・議決するのは国会の役割です。日本銀行はあくまで中央銀行としての立場から、通貨価値の安定や経済の健全な発展のために機能する機関であり、行政機関である内閣とは役割が明確に区別されています。
問3	答え 2 海外での販売価格を安く設定できるようになるため、価格競争力が高まり、輸出に有利にはたらく	円安になると、海外でドル建ての販売価格を下げて、それを円に換算した際の受け取り額を維持、あるいは増やすことが可能になります。これにより、海外市場において他国製品よりも安く販売してシェアを広げたり、同じ価格で売ってより多くの円の利益を得たりできるため、一般的に輸出産業にとっては有利な状況となります。
問4	答え 4 市場の通貨供給量が増えることで金利が低下し、企業が資金を借りやすくなる。	日本銀行が一般の銀行から国債を受け取り、代わりに代金を支払うことで、銀行側の資金に余裕が生まれます。資金が豊富になれば利下げ（金利の低下）が起こり、企業は低い利息で設備投資などのための資金を借りやすくなります。このように、通貨供給量の増加から利下げへとつなげることで、経済活動を活発化させることが狙いです。
問5	答え 1 利子	金融機関から借入金を得る際、その資金を利用する対価として支払う手数料を利子（または利息）と呼びます。利子は一般的に、借りの金額（元本）が多ければ多いほど、また借りの期間が長ければ長いほど、支払う総額が大きくなる仕組みになっています。
問6	答え 2 日本銀行が国債を売却することで、市場の通貨量が減少し、過度な景気拡大や物価上昇が抑えられる。	日本銀行が一般の金融機関に国債を売る（売りオペレーション）と、金融機関が代金を支払うため、市場の資金が日本銀行に吸い上げられます。これにより市場の通貨量が減り、お金を借りる際の金利が上昇しやすくなるため、投資や消費が抑制され、景気の過熱を鎮める効果があります。
問7	答え 3 企業が株式や債券を発行し、証券市場を通じて投資家から直接資金を調達する仕組みである。	間接金融では銀行などの金融機関が「仲介者」となって預金者と企業を結びつけますが、直接金融では企業が発行した証券を投資家が選んで購入します。このため、直接金融では資金の出し手がリスクを直接負う代わりに、企業は自らの信用力や事業の魅力に基づいて広範な投資家から資金を集めることが可能になります。
問8	答え 3 買いオペレーション	不況やデフレの際、日本銀行は市場の通貨量を増やすことで経済を刺激しようとします。日本銀行が民間金融機関の持つ国債などを買い取ると、その代金が民間金融機関に支払われます。これにより、銀行が企業や個人に貸し出せる資金が増え、景気回復へとつなげる仕組みです。
問9	答え 1 市中に出回る通貨量を増やし、企業や個人が資金を借りやすくして経済活動を活発にするため。	不況時に日本銀行が国債を買い入れると、代金が市中の金融機関に支払われることで通貨量が増加します。これにより金利が低下し、企業や個人が資金を借りやすくなるため、投資や消費が促されて景気が回復へと向かいます。
問10	答え 1 返済総額	銀行から資金を借りる場合、借り手は借りた金額（元金）だけを返せばよいわけではありません。借りた期間や金額に応じた対価として「利子」が発生します。この利子と元金を合わせた全額が、銀行に支払うべき返済総額となります。入試では利子分のみを答えるミスが多いため、元金を含めた合計を指す言葉を正確に理解しておく必要があります。
問11	答え 3 直接金融	銀行が預金者から集めた資金を企業などに貸し出す「間接金融」とは異なり、企業が自ら発行した証券を投資家が購入することで資金が流れる仕組みを指します。この形態では、投資家が企業の経営状況などを判断し、直接リスクを負って資金を提供することが特徴です。
問12	答え 2 物価を安定させ、国民経済を健全に発展させること	日本銀行が「発券銀行」として通貨の量を管理する最大の目的は、お金の価値を一定に保つ「物価の安定」にあります。物価が急激に変動すると国民の生活や経済活動が混乱するため、景気の状況に応じて通貨の流通量を調整することで、経済の健全な成長を支えています。政府から独立した立場でこの役割を担うことで、短期的な政治判断に左右されない安定した金融運営が行われる仕組みになっています。
問13	答え 4 日本銀行が一般の金融機関から国債を買い取り、代金を支払うことで、世の中の通貨の量を増やす。	不景気の際、日本銀行は市場の通貨量を増やすために「買いオペレーション」を実施します。日本銀行が金融機関の保有する国債を買い取り、その代金を金融機関に支払うことで、金融機関が自由に動かせる資金（通貨量）が増加します。これにより、企業や個人への貸し出しが促進され、景気回復を目指します。